

決算補足説明資料

2024年度 通期 業績概要

注意事項

- 2024年度より、これまでシステムエンジニアリング事業に含めていた太陽光発電用パワーコンディショナ関連の情報を、モーションコントロール事業に移行するセグメント区分の見直しを行っています。これにより、2024年度の数値は変更後の情報に組み替えた上で算出しています。なお、2023年度の数値についても変更後の情報にて表示しています。（P22参照）
- 本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
- 本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合があります。
- 本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用することを禁じます。

株式会社 安川電機 (TSE6506)

(対象期間：2024年3月1日～2025年2月28日)

当決算におけるポイント（サマリー）

▶ 2024年度 通期 実績

→ 売上収益 … 前期比▲6.6%

- ・ 高水準な受注残に支えられた前期に比べ、モーションコントロールの大幅な売上減の影響を受け減収

→ 営業利益 … 前期比▲24.3%

- ・ 間接費の抑制に努めたものの、売上減少に伴う利益減の影響を大きく受け減益

→ 税引前利益 … 前期比+13.6%

親会社の所有者に帰属する当期利益 … 前期比+12.4%

- ・ 持分法適用関連会社の一部株式譲渡により増益

→ 第4四半期 受注 … 前年同期比+15%・前四半期比+5%

- ・ ACサーボモータの国内向けや、インバータの米州向けがけん引し増加

▶ 2025年度 通期 見通し

- ・ 回復傾向にある市場の需要を確実に取り込むとともに、足元の需要動向に沿った生産・販売の最適化により増収増益を計画
- ・ 為替状況を考慮し、為替レートを前期に対し円高方向に設定
- ・ 25年度の配当金予想は前期据え置き（一株当たり年間配当68円）

目次

1. 2024年度 通期 連結業績

- 2024年度 通期 実績
- 主要事業の概要
- 事業セグメント別売上収益構成比
- 所在地別売上収益, 構成比
- 営業利益増減要因分析
- 2024年度における取り組み

2. 2025年度 通期 連結業績見通し

- 2025年度 通期 見通し
- 営業利益増減要因分析
- 2025年度における取り組み
- 株主還元（配当金推移）

3. 参考資料

- セグメント区分変更による組替表示
- 設備投資・研究開発費, 為替レート・感応度
- B/S 構造の推移
- 売上収益・営業利益推移
- 中期経営計画「Realize 25」遂行状況
- 四半期売上収益推移
- 四半期受注推移

セグメント別事業概要

モーションコントロール

【主要製品】

- ・ ACサーボドライブ、コントローラ
- ・ リニアサーボ
- ・ インバータ
- ・ 太陽光発電用パワーコンディショナ
- ・ PMモータ



ロボット

【主要製品】

- ・ 産業用ロボット
 - アーク・スポット溶接・塗装用途向け
 - ハンドリング用途向け
- ・ 半導体製造装置用ロボット
- ・ バイオメディカル用途向けロボット
- ・ 人協働ロボット
- ・ 自律ロボット



システム エンジニアリング

【主要製品】

- ・ 鉄鋼プラント用電気システム
 - ・ 上下水道用電気計装システム
- など



その他

- ・ 物流サービス

など

1. 2024年度 通期 連結業績

2024年度 通期 実績

- ・ 高水準な受注残に支えられた前期に比べ減収
- ・ 営業利益は、間接費の抑制に努めたものの、売上減少に伴う利益減の影響を大きく受け減益
- ・ 税引前利益・当期利益は持分法適用関連会社の一部株式譲渡により増益

	2024年度	2023年度	前 期 比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上収益	5,377億円	5,757億円	▲380億円	▲6.6%
営業利益	502億円	662億円	▲161億円	▲24.3%
税引前利益	785億円	691億円	+94億円	+13.6%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	570億円	507億円	+63億円	+12.4%

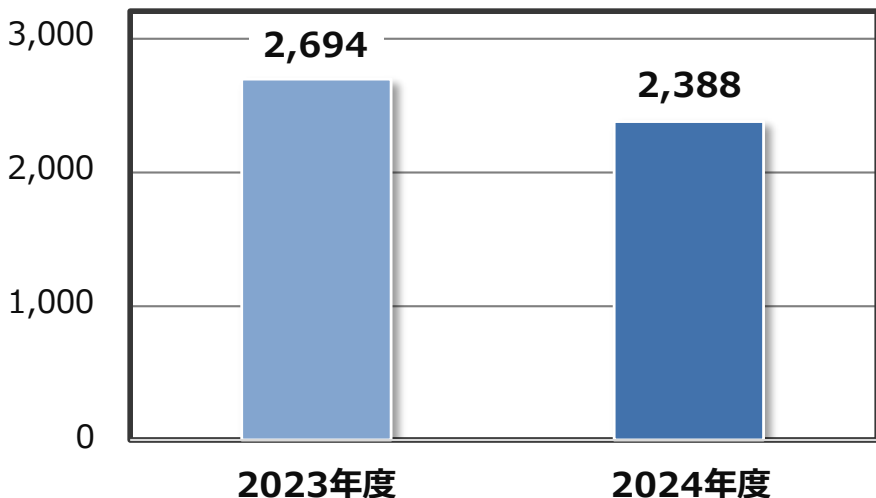
2024年度 通期 実績（セグメント別）

- ・ モーションコントロールは、売上減の影響を大きく受け減益
- ・ ロボットは、若干の増収も生産稼働率の低下や先行投資などにより減益
- ・ システムエンジニアリングは、子会社売却影響により減収も主力事業の売上拡大と事業構造改革の効果により営業利益率が改善

	2024年度		2023年度		前 期 比	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
売上収益	5,377		5,757		▲380	▲6.6%
モーションコントロール	2,388		2,694		▲307	▲11.4%
ロボット	2,374		2,347		+27	+1.2%
システムエンジニアリング	384		461		▲77	▲16.8%
その他	232		255		▲23	▲9.1%
営業利益	502	9.3%	662	11.5%	▲161	▲24.3%
モーションコントロール	230	9.6%	390	14.5%	▲160	▲41.0%
ロボット	238	10.0%	251	10.7%	▲14	▲5.6%
システムエンジニアリング	46	12.0%	49	10.5%	▲3	▲5.2%
その他	16	6.9%	4	1.6%	+12	-
消去または全社	▲28	-	▲32	-	+4	-

主要事業の概要 モーションコントロール

売上収益(億円)



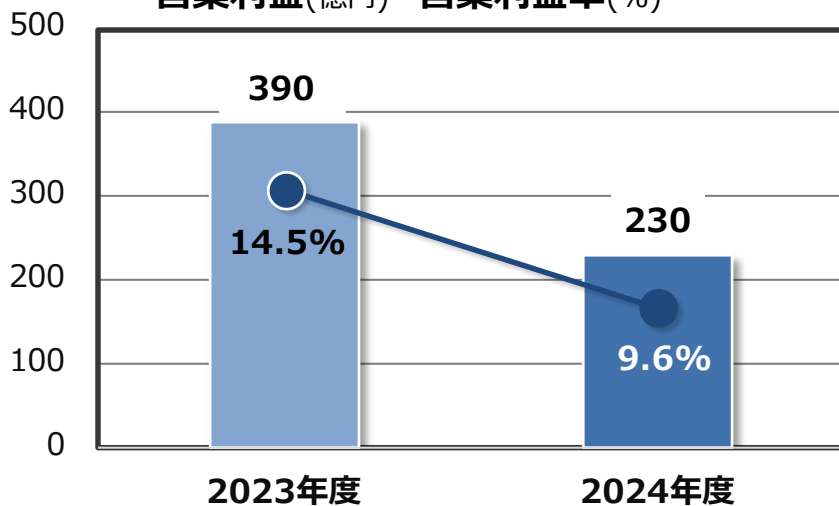
【売上収益】

- ACサーボは半導体市場において米州で販売が堅調に推移も、日本では電子部品市場含め回復が遅延。中国は期末にかけて緩やかに回復も、設備投資は総じて低調。欧州も需要が低迷し減収
- インバータは太陽光発電用パワーコンディショナの販売が堅調に推移も、高水準な受注残に支えられた前期に比べ減収

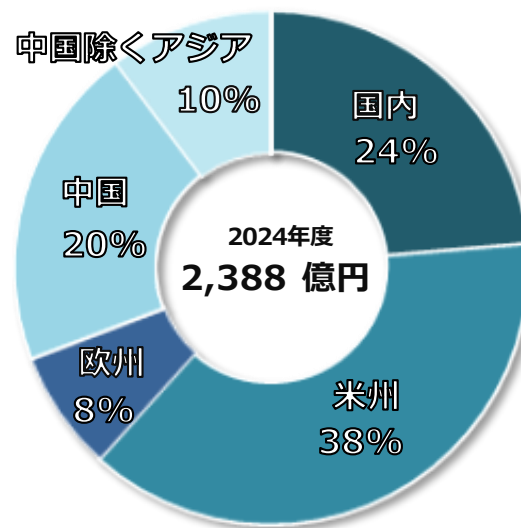
【営業利益】

- 経費削減を進めるも、売上減少に伴う利益減の影響を大きく受け減益

営業利益(億円)・営業利益率(%)

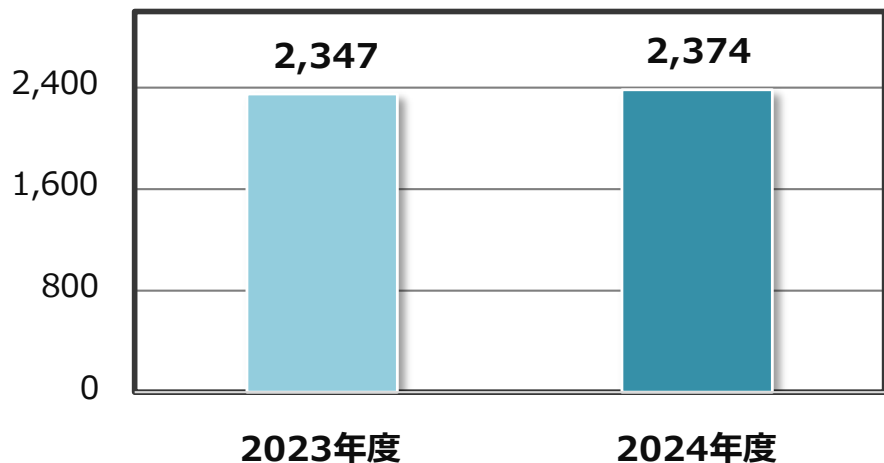


所在地別売上収益構成比



主要事業の概要 ロボット

売上収益(億円)



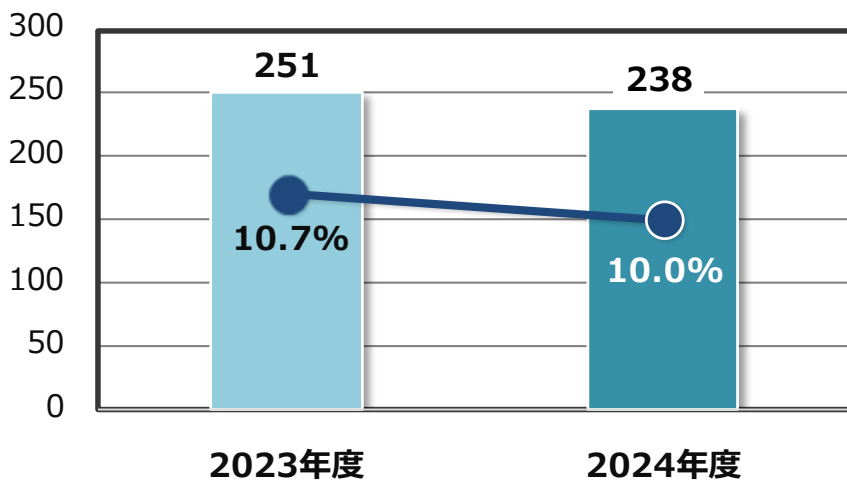
【売上収益】

- 自動車市場では設備投資は総じて低調に推移する中、既受注の大口システム案件の売上が寄与
- 半導体ウェハ搬送ロボットの販売も増加し、若干の増収

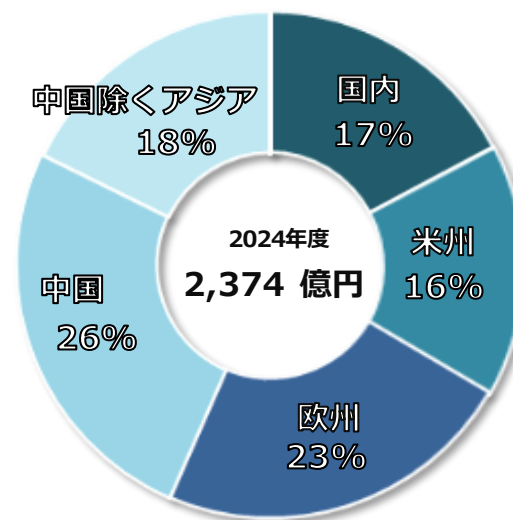
【営業利益】

- 生産稼働率の低下やシステム対応力強化に向けた先行投資などにより減益

営業利益(億円)・営業利益率(%)

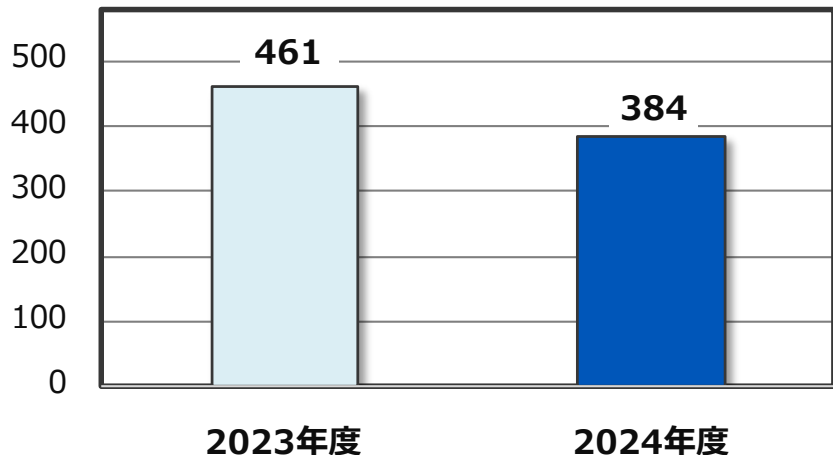


所在地別売上収益構成比



主要事業の概要 システムエンジニアリング

売上収益(億円)



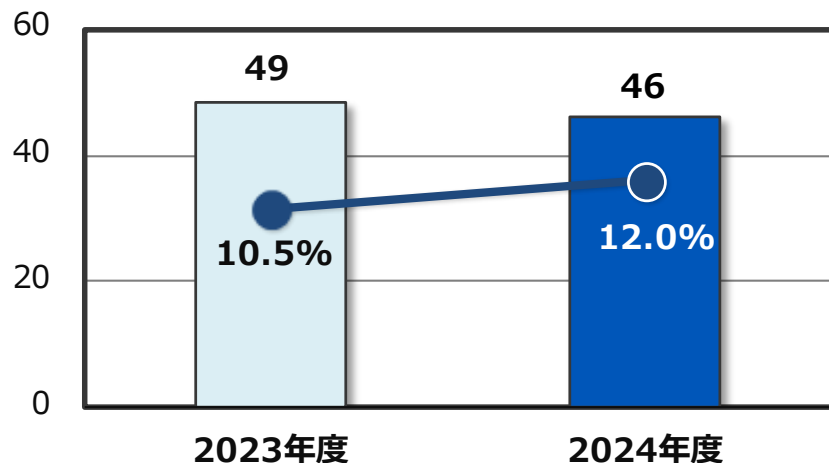
【売上収益】

- 主力の鉄鋼プラントや港湾クレーン、社会システム向けの販売が拡大
- 前年度下期の大型風力発電関連の子会社売却影響により減収

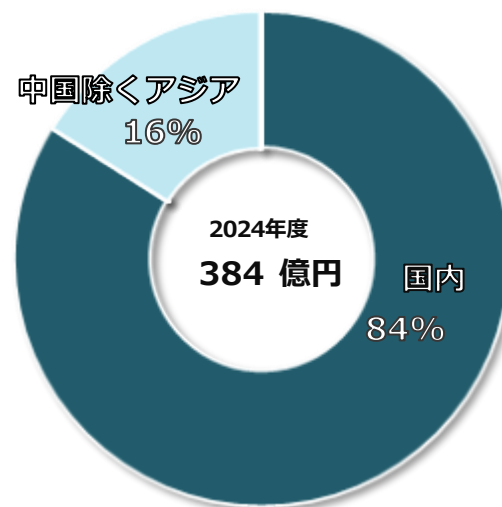
【営業利益】

- 前期に計上した大型風力発電関連の子会社株式売却益の剥落影響により減益も、事業構造改革の効果により営業利益率は改善

営業利益(億円)・営業利益率(%)

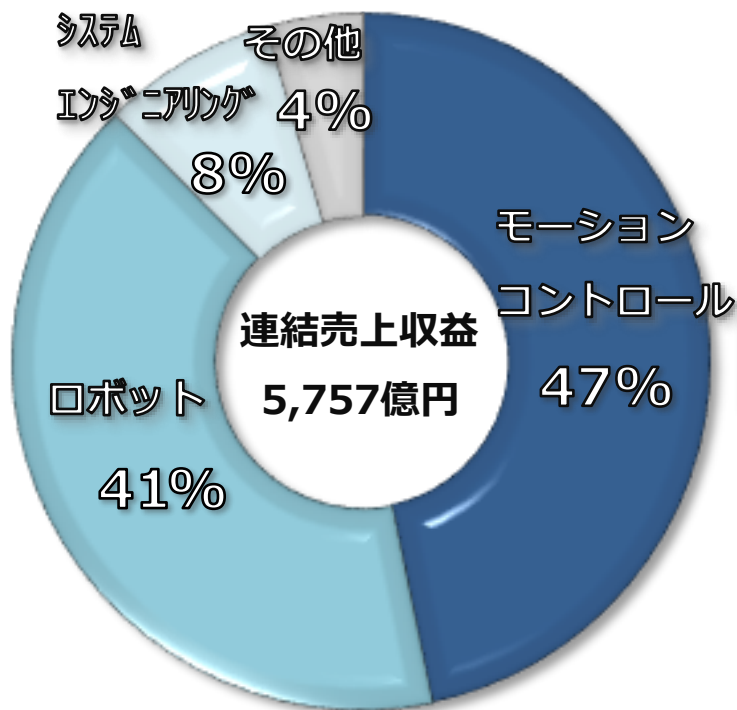


所在地別売上収益構成比

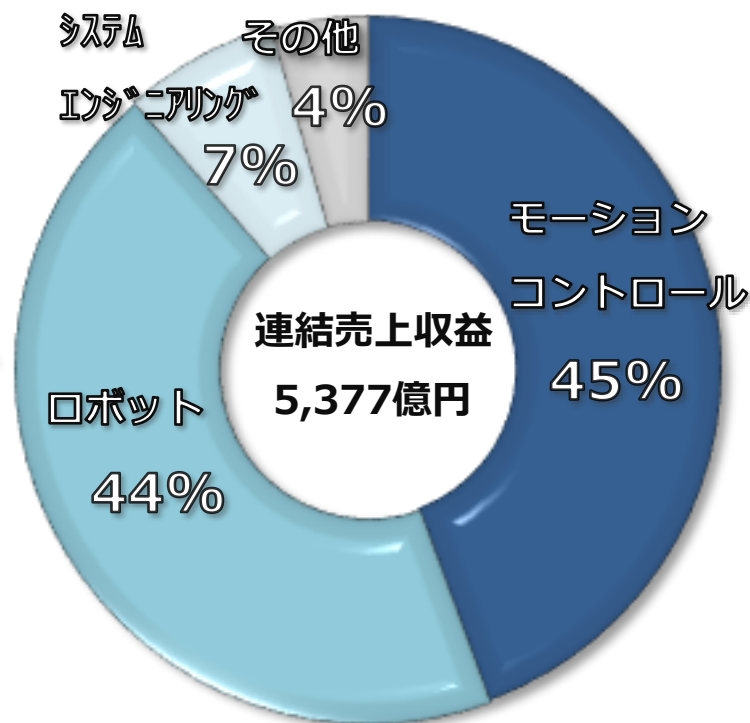


事業セグメント別売上収益構成比

2023年度



2024年度



所在地別売上収益

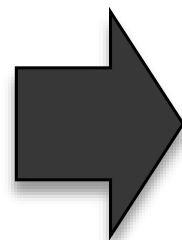
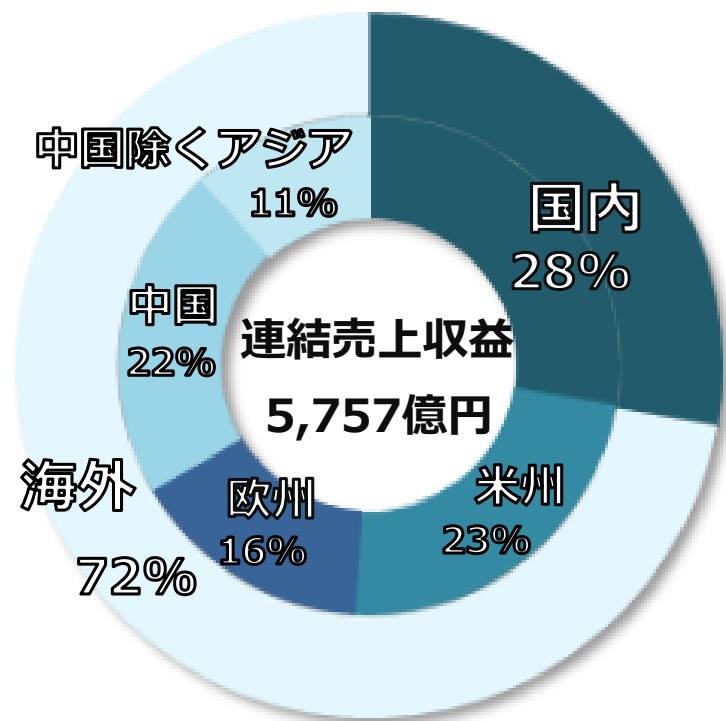
・中国除くアジア以外の地域は減収

(単位：億円)	2024年度	2023年度	前 期 比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上収益	5,377	5,757	▲380	▲6.6%
国内	1,492	1,596	▲104	▲6.5%
海外	3,885	4,161	▲276	▲6.6%
米州	1,295	1,343	▲48	▲3.6%
欧州	730	901	▲171	▲19.0%
中国	1,131	1,250	▲119	▲9.5%
中国除くアジア	729	667	+62	+9.3%

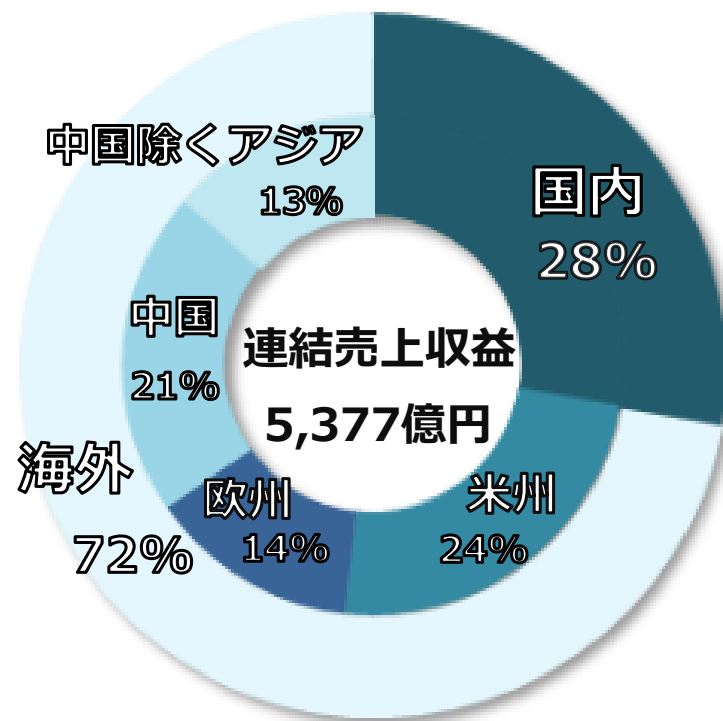
[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

所在地別売上収益構成比

2023年度



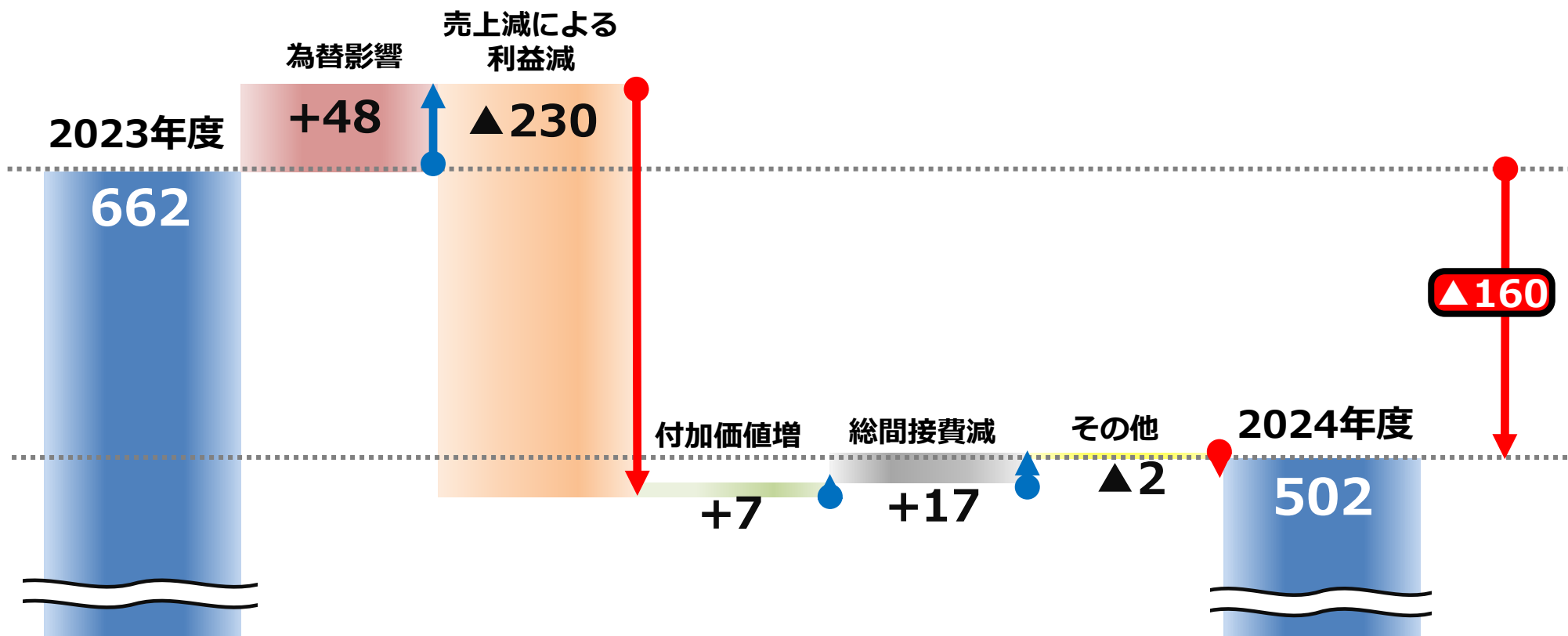
2024年度



[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

営業利益増減要因分析（2023年度 → 2024年度）

（単位：億円）



内訳	為替影響	売上増減による利益増減	付加価値増減	総間接費増減	その他
モーションコントロール	+ 20	▲ 218	+ 1	+ 40	▲ 3
ロボット	+ 27	▲ 19	▲ 8	▲ 20	+ 6
システムエンジニアリング	+ 0	+ 13	+ 2	▲ 3	▲ 15
その他	+ 0	▲ 7	+ 13	▲ 1	+ 10

2024年度における取組み

“i³-Mechatronics”ソリューションによる価値創出

開発力の強化

- ▶ NVIDIA AI Summit Japan(2024年11月)において「MOTOMAN NEXT」のデモ機を展示しAIを活用した高速ピック&プレイスを訴求
- ▶ トヨタ自動車と熟練の溶接技術を再現する「SFA工法^{※1}」を協同開発

生産力の強化

- ▶ ロボット第1工場に「MOTOMAN NEXT」を導入し、自動化やデータ活用による生産性改善を実現(シザーズギア^{※2}組立工程)
- ▶ システムエンジニアリング事業の強化を目的に南行橋事業所(福岡県行橋市)の新設に着工(2026年度3Qより順次稼働)

販売力の強化

- ▶ 2019年に設立したi³-Mechatronics CLUBの活動を加速(エヌビディア合同会社, キューピー(株) など国内約160社が参画)

メカトロニクス応用領域の事業拡大による サステナブルな社会実現への貢献

- ▶ アステラス製薬とバイオ向け双腕ロボット「まほろ」を活用した細胞医療製品の製造に関する合弁会社の設立について契約締結



MOTOMAN NEXTによるシザーズギア組立の様子



トヨタ自動車と開発した「SFA工法」の様子



南行橋事業所完成イメージ図

※1 Sequence Freezing Arc-weldingの略。溶着と凝固を繰り返しゆっくりと丁寧に溶接を進める工法

※2 騒音抑制とスムーズな動力伝達を目的として使用されるギア。ギアの間隙をなくすことでガタつきを抑え、振動や騒音を低減させる仕組み

2. 2025年度 通期 連結業績見通し

2025年度 通期 見通し

- ・回復傾向にある市場の需要を確実に取り込むとともに、足元の需要動向に沿った生産・販売の最適化により増収増益を計画
- ・税引前利益・当期利益は、前期に計上した一部株式譲渡益の剥落等により減少する見込み

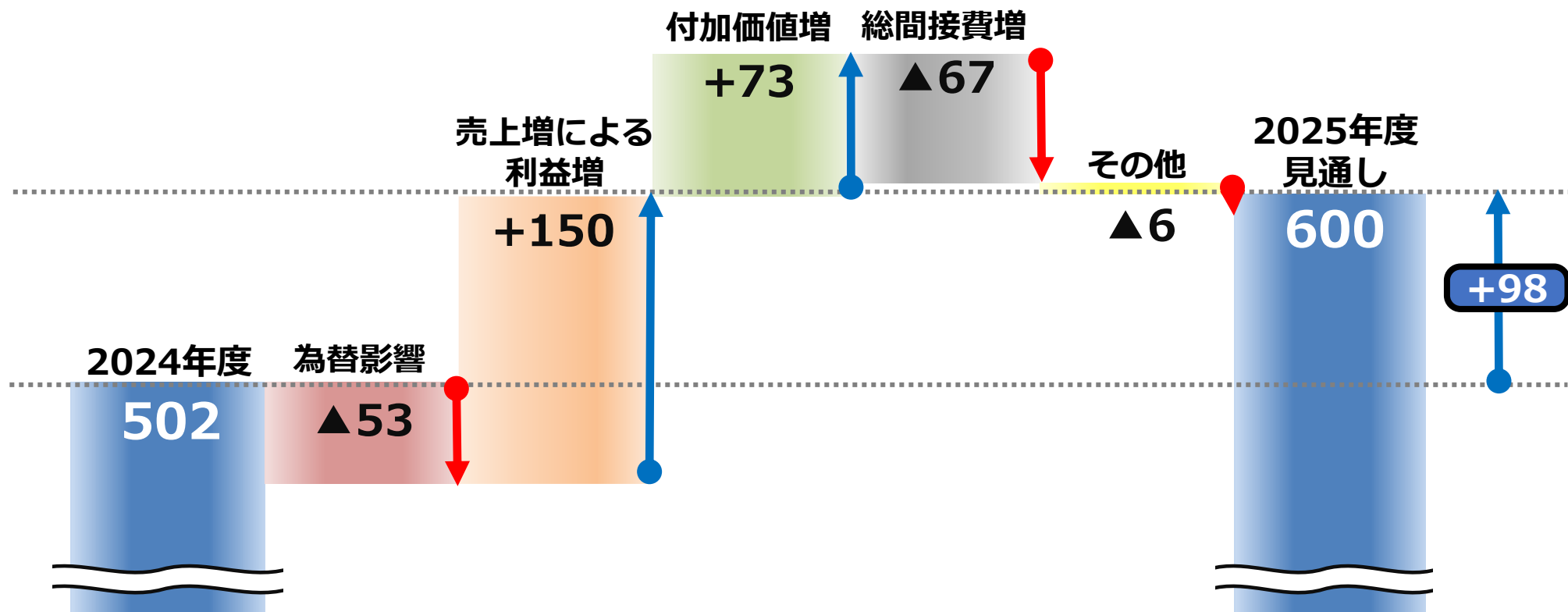
	2025年度 見通し	2024年度 実績	前 期 比	
			増減額	増減率
売上収益	5,500億円	5,377億円	+123億円	+2.3%
営業利益	600億円	502億円	+98億円	+19.6%
税引前利益	630億円	785億円	▲155億円	▲19.7%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	465億円	570億円	▲105億円	▲18.4%

2025年度 通期 見通し (セグメント別)

	2025年度		2024年度		前年同期比	
	見通し	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
(単位：億円)						
売上収益	5,500		5,377		+123	+2.3%
モーションコントロール	2,415		2,388		+27	+1.2%
ロボット	2,475		2,374		+101	+4.2%
システムエンジニアリング	380		384		▲4	▲0.9%
その他	230		232		▲2	▲0.7%
営業利益	600	10.9%	502	9.3%	+98	+19.6%
モーションコントロール	286	11.8%	230	9.6%	+56	+24.3%
ロボット	310	12.5%	238	10.0%	+72	+30.5%
システムエンジニアリング	45	11.8%	46	12.0%	▲1	▲2.3%
その他	10	4.3%	16	6.9%	▲6	▲37.2%
消去または全社	▲51	-	▲28	-	▲23	-

営業利益増減要因分析（2024年度 → 2025年度見通し）

（単位：億円）



内訳	為替影響	売上増減による利益増減	付加価値増減	総間接費増減	その他
モーションコントロール	▲ 26	+ 60	+ 43	▲ 22	▲ 0
ロボット	▲ 27	+ 89	+ 29	▲ 17	▲ 4
システムエンジニアリング	▲ 1	+ 1	+ 1	▲ 2	+ 0
その他	▲ 0	▲ 0	▲ 0	▲ 26	▲ 2

2025年度における取り組み

“i³-Mechatronics”ソリューションによる価値創出

→ 開発力の強化

- 「MOTOMAN NEXT」の市場投入拡大(検証・評価から実ラインへの導入移行)とパートナー連携の拡充
- 「iCube Control」のラインアップ展開によるソリューションビジネスへの移行加速
- データセンタ向け冷却ソリューションへの取り組み強化によるインバータの適応領域拡大

→ 生産力の強化

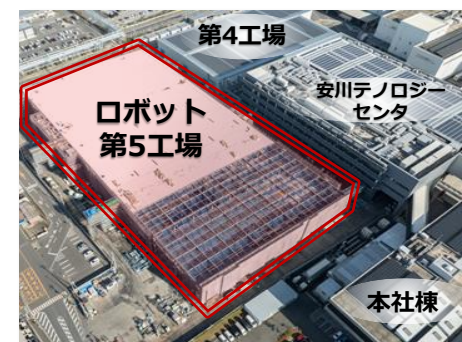
- ロボット第5工場の新設による変種変量生産に柔軟に対応できる生産体制の確立 (2025年12月竣工予定)
- グローバルにおける製品トレーサビリティの強化と自社新製品を活用した生産自動化・省人化・内製化の推進

→ 販売力の強化

- AIチップをはじめとする半導体の中工程市場における拡販加速
- 拡大が見込まれるインド市場での成長戦略の明確化と実行

メカトロニクス応用領域の事業拡大による サステナブルな社会実現への貢献

- 食品産業における品質確保・安定供給を実現する自動化ソリューションの展開加速
- きゅうり収穫・いちご選果などの現場実践を通じた農業分野における事業化推進



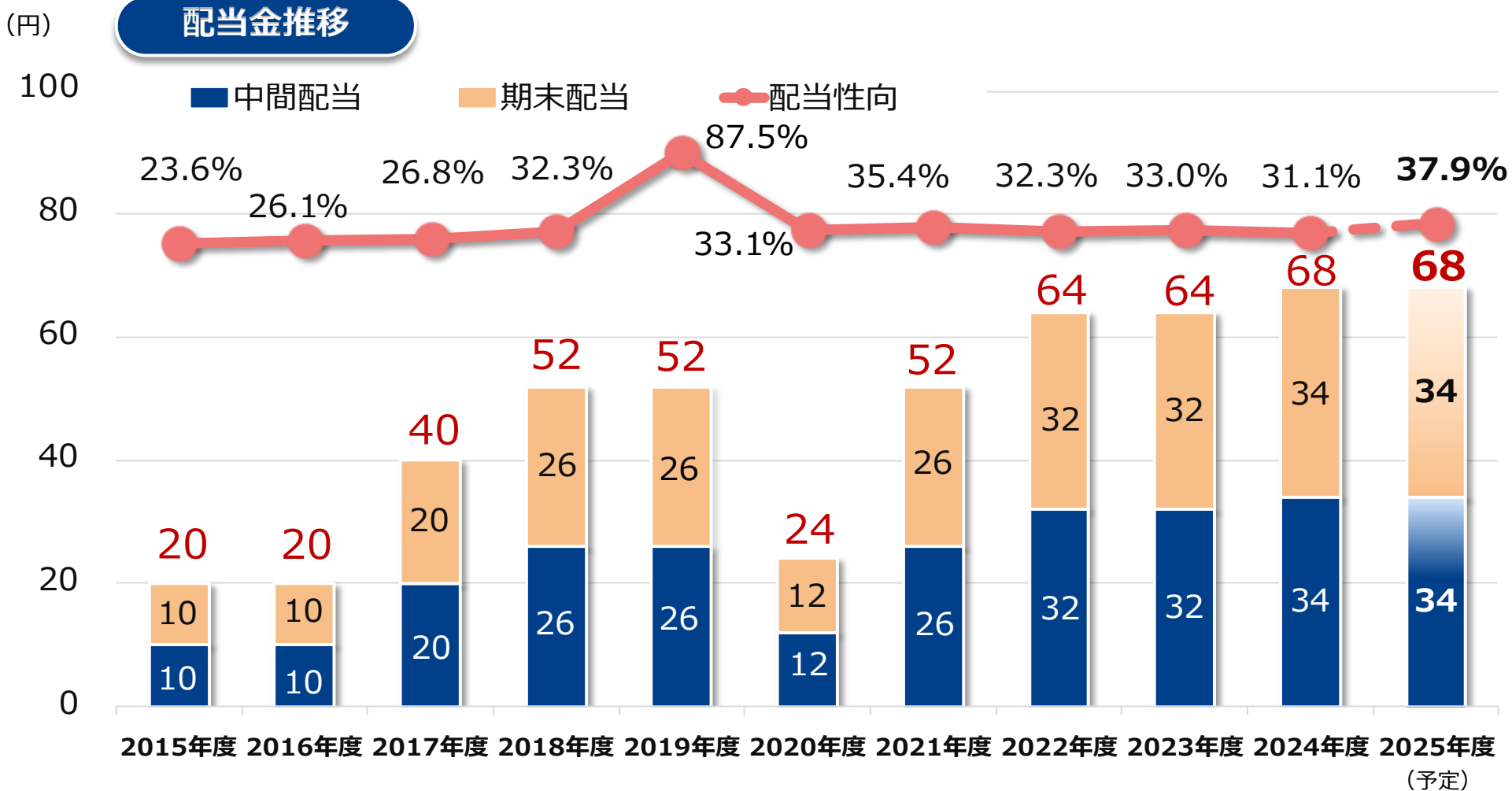
建設中のロボット第5工場



MOTOMAN NEXTによる
いちごの選果プロセス

株主還元（配当金推移）

- 2024年度は一株当たり年間68円の配当を実施（自社株買い分を含む総還元性向 47.7%）
- 2025年度は安定配当を基本とし、一株当たり年間68円の配当を予定（配当性向 37.9%）



3. 参考資料

セグメント区分変更による組替表示（2023年度実績）

- 2024年度より従来システムエンジニアリング事業に含めていた太陽光発電用パワーコンディショナ関連の情報を、モーションコントロール事業に移行する**セグメント区分の見直し**を実施
- 2024年度・2023年度の数値は、セグメント変更後の情報にて表示

	2023年度（セグメント変更後）							変更 影響額 (通期)	
	(単位：億円)	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期		通期
売上高		1,425	1,465	2,890	1,354	1,513	2,867	5,757	-
モーションコントロール		716	691	1,408	638	649	1,287	2,694	+94
ロボット		528	596	1,124	546	677	1,223	2,347	-
システムエンジニアリング		123	108	231	107	123	230	461	▲94
その他		58	70	128	63	63	127	255	-
営業利益		164	166	331	135	197	332	662	-
モーションコントロール		98	104	202	84	104	188	390	+8
ロボット		62	68	130	56	66	122	251	-
システムエンジニアリング		10	4	14	2	33	35	49	▲8
その他		▲0	0	0	1	3	4	4	-
消去または全社		▲6	▲10	▲15	▲7	▲9	▲16	▲32	-

設備投資・研究開発費, 為替レート・感応度

設備投資・研究開発費の状況

(単位: 億円)

	2023年度 (実績)	2024年度 (実績)	2025年度 (計画)
設備投資額	378.6	406.7	550.0
減価償却費	208.0	208.0	220.0
研究開発投資	212.5	237.8	250.0

為替レート

※ 為替レートは、期中平均レートを記載

(単位: 円)

	2023年度 (実績)			2024年度 (実績)			2025年度 (想定)
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期
対 米ドル	138.8	147.9	143.2	153.7	151.6	152.7	145.0
対 ユーロ	151.0	159.3	155.1	166.6	161.3	164.0	160.0
対 元	19.61	20.44	20.02	21.23	21.01	21.12	20.00
対 ウォン	0.106	0.112	0.109	0.113	0.108	0.111	0.110

為替感応度

(単位: 億円)

	1%変動による影響額目安 (2024年度_通期)	
	売上収益	営業利益
米ドル	13.8	2.5
ユーロ	7.3	0.8
元	11.3	2.8
ウォン	3.8	1.6

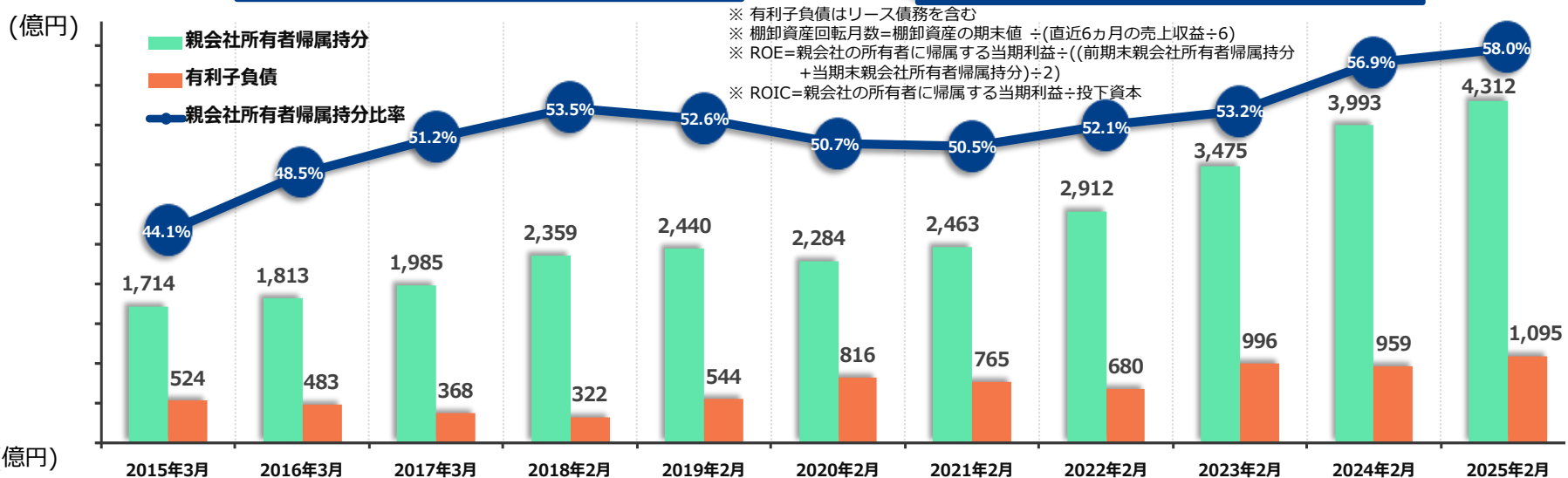
B/S構造の推移

2024年2月29日時点

- ▶ 親会社所有者帰属持分比率 56.9%
- ▶ 親会社所有者帰属持分 3,993億円
- ▶ 有利子負債 959億円
(現金及び現金同等物) 403億円
- ▶ D/Eレシオ 0.24
(ネットD/Eレシオ) 0.14
- ▶ 棚卸資産 2,079億円
(回転月数) (4.4ヶ月)
- ▶ ROE 13.6%
- ▶ ROIC 11.8%

2025年2月28日時点

- ▶ 親会社所有者帰属持分比率 58.0%
- ▶ 親会社所有者帰属持分 4,312億円
- ▶ 有利子負債 1,095億円
(現金及び現金同等物) 590億円
- ▶ D/Eレシオ 0.25
(ネットD/Eレシオ) 0.12
- ▶ 棚卸資産 2,063億円
(回転月数) (4.5ヶ月)
- ▶ ROE 13.7%
- ▶ ROIC 12.2%

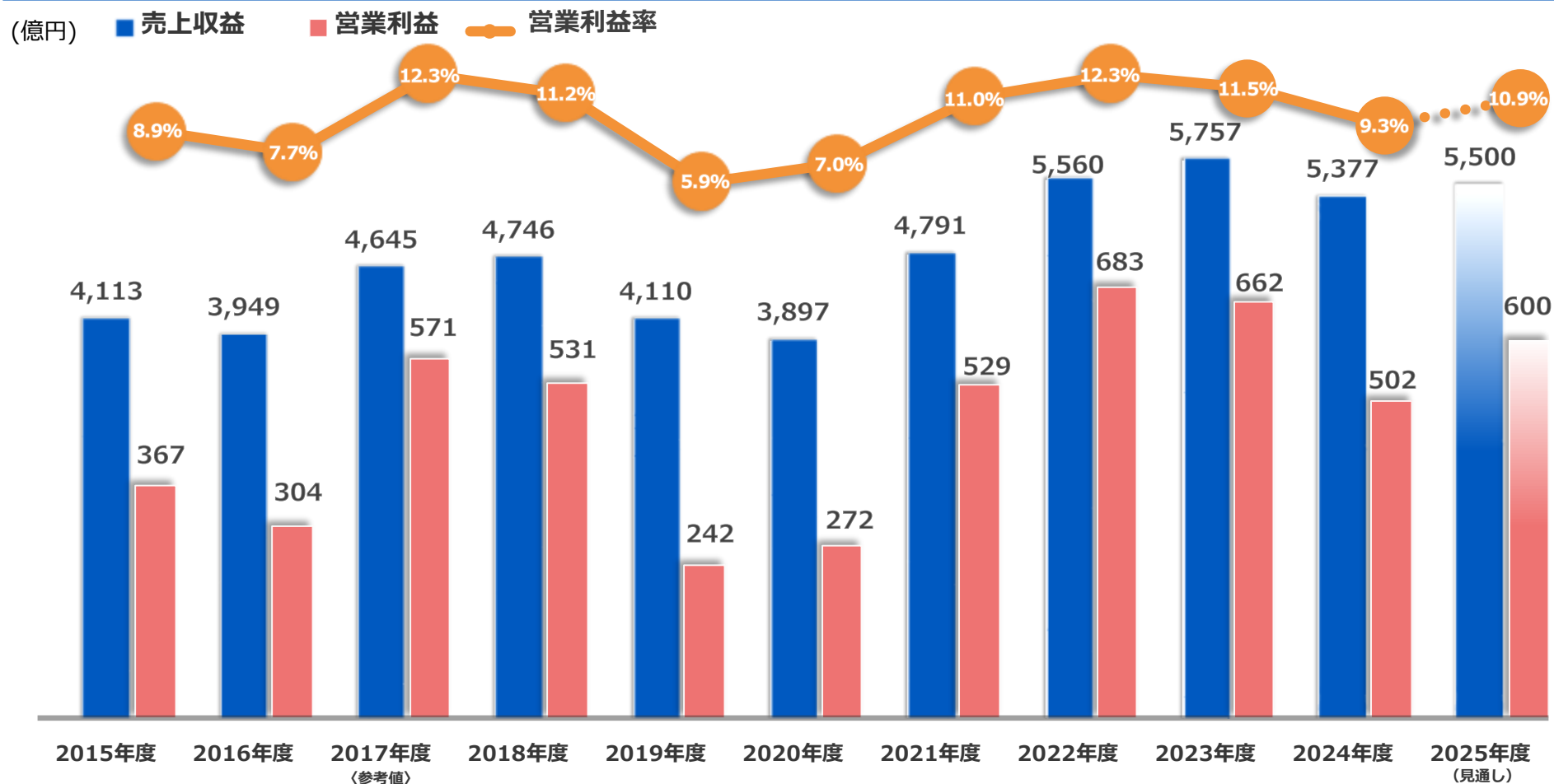


※ 有利子負債はリース債務を含む
 ※ 棚卸資産回転月数=棚卸資産の期末値 ÷ (直近6カ月の売上収益÷6)
 ※ ROE=親会社の所有者に帰属する当期利益÷((前期末親会社所有者帰属持分
 +当期末親会社所有者帰属持分)÷2)
 ※ ROIC=親会社の所有者に帰属する当期利益÷投下資本

	2015年3月	2016年3月	2017年3月	2018年2月	2019年2月	2020年2月	2021年2月	2022年2月	2023年2月	2024年2月	2025年2月
営業CF	290	320	338	461	343	215	396	492	▲ 22	546	565
投資CF	▲ 279	▲ 224	▲ 189	▲ 189	▲ 271	▲ 206	▲ 96	▲ 242	▲ 197	▲ 293	▲ 213
フリーCF	11	95	148	272	72	8	300	251	▲ 219	253	352

[注] 2018年2月までのデータは日本基準にて記載

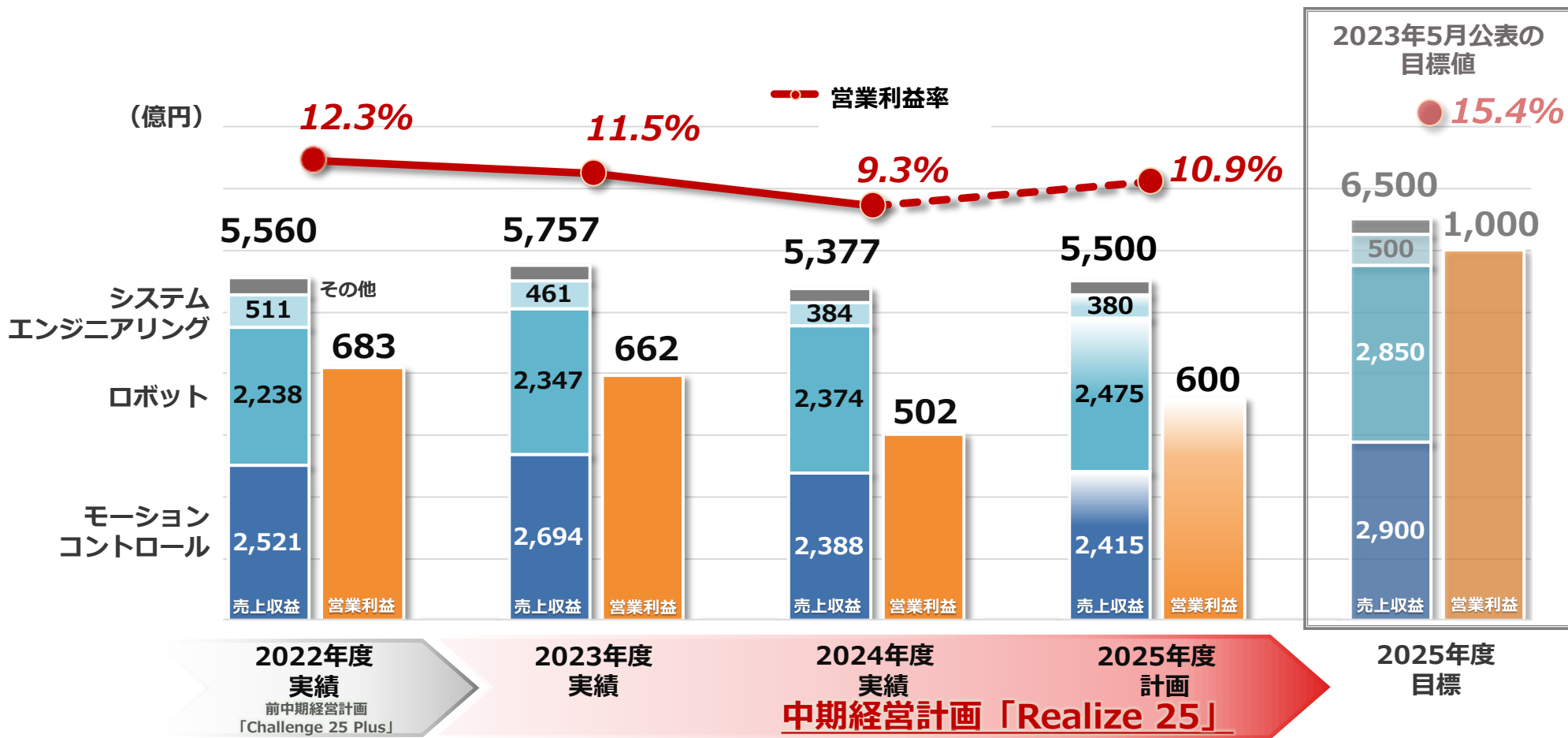
売上収益・営業利益推移（2015年度～2025年度見通し）



[注1] 2017年度までのデータは日本基準にて記載

[注2] 2017年度通期実績は、対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

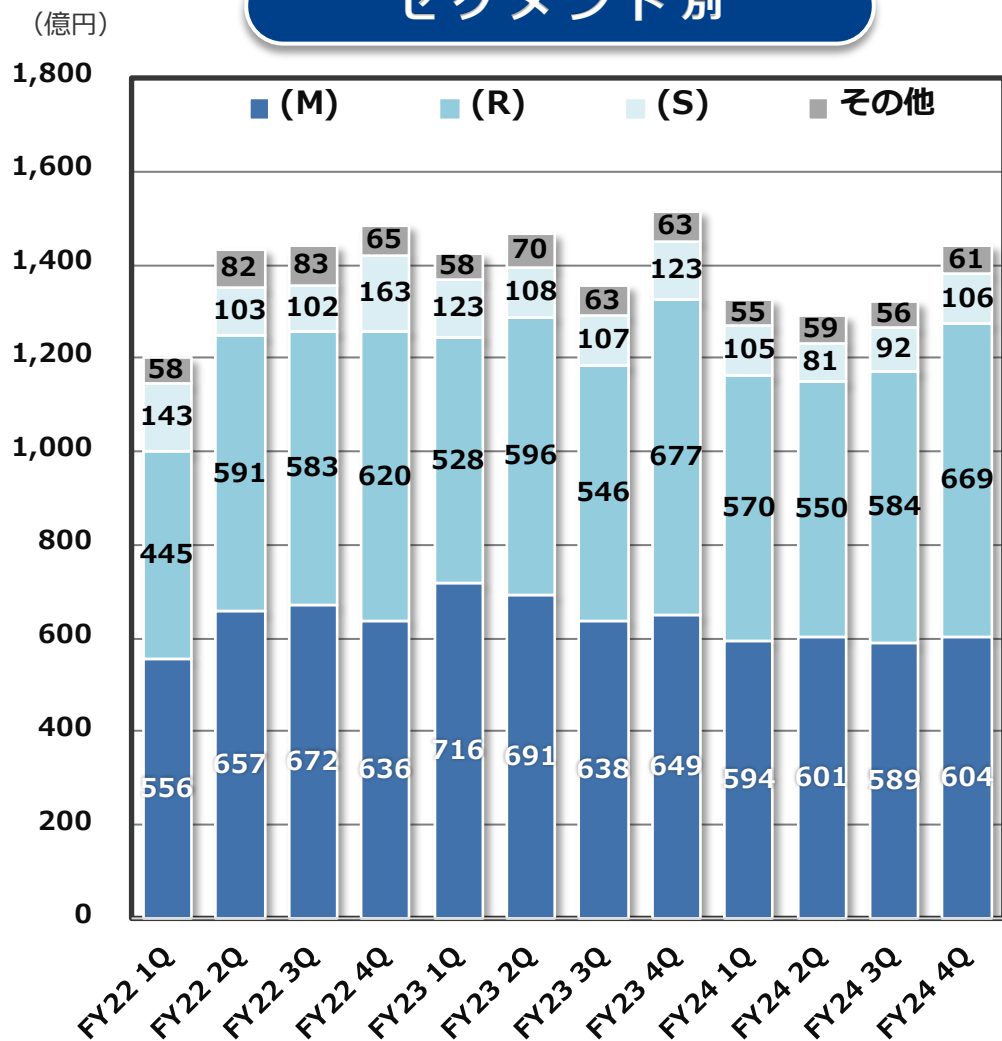
中期経営計画「Realize 25」の遂行状況



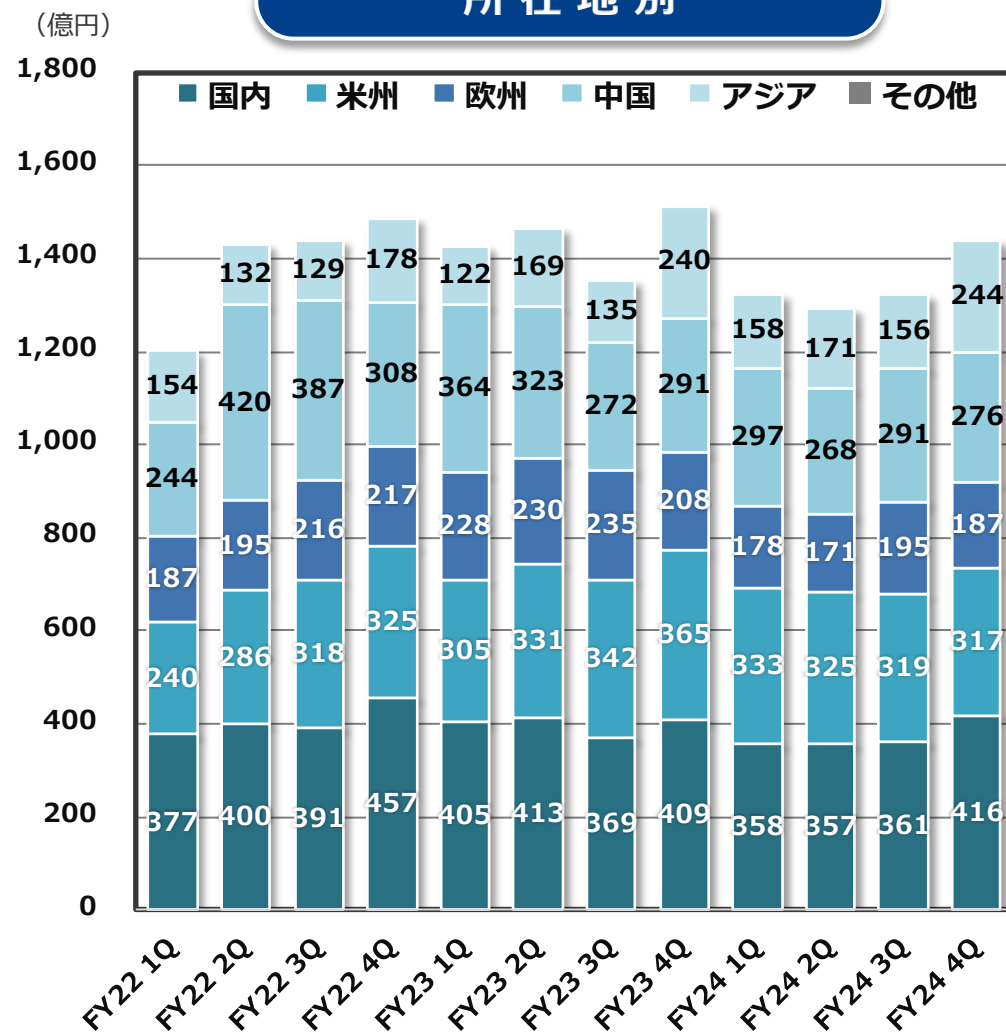
	2022年度実績 前中期経営計画 「Challenge 25 Plus」	2023年度実績	2024年度実績 中期経営計画「Realize 25」	2025年度計画	2025年度目標
ROE	16.2%	13.6%	13.7%	—	15.0%以上
ROIC	14.6%	11.8%	12.2%	—	15.0%以上
配当性向	32.3%	33.0%	31.1%	37.9%	30.0%以上

四半期売上収益推移

セグメント別



所在地別



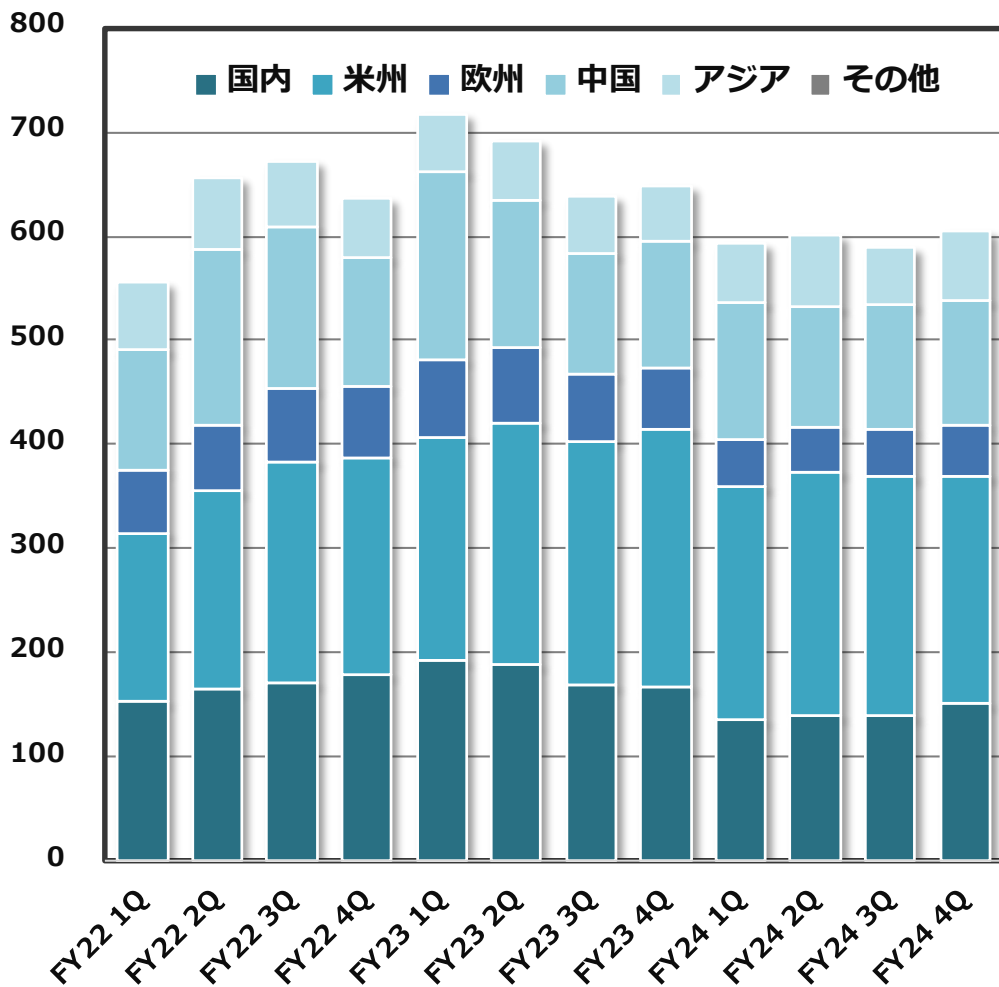
[注. 1] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

[注. 2] FY22のデータは、セグメント区分見直し前の数値を使用

四半期売上収益推移

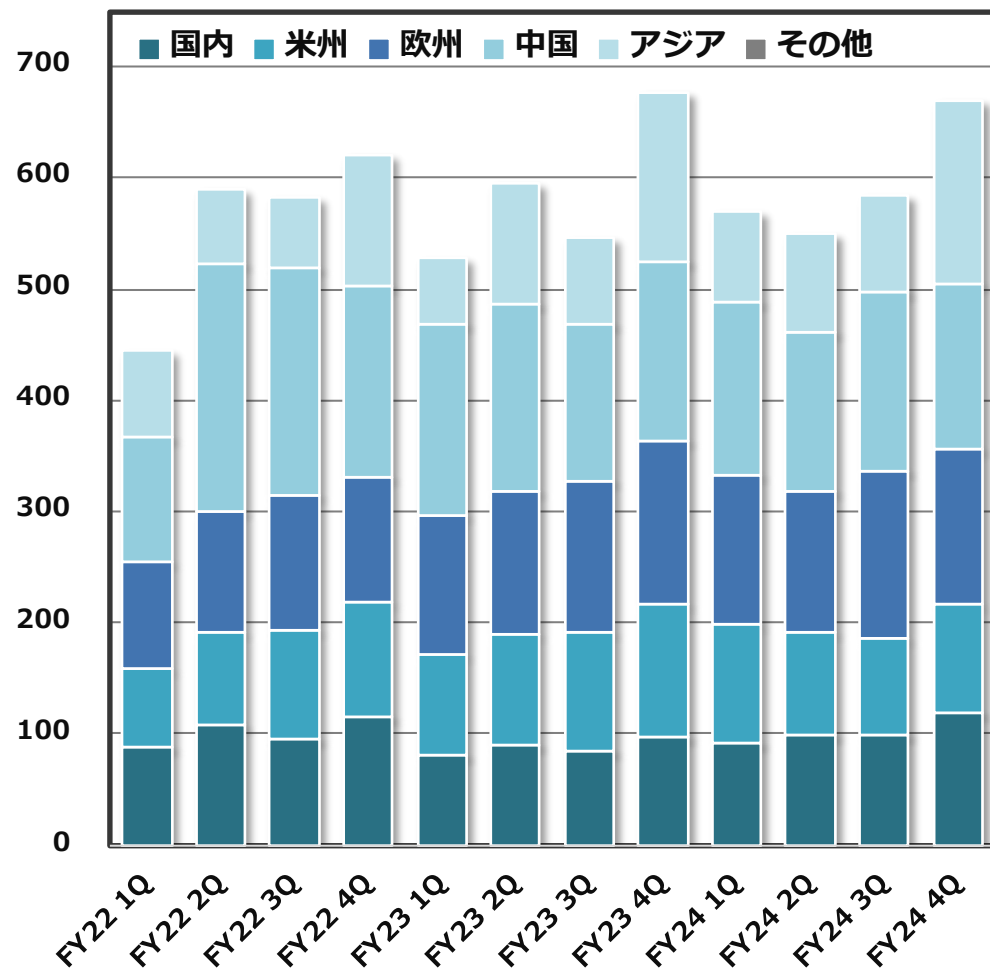
モーションコントロール

(億円)



ロボット

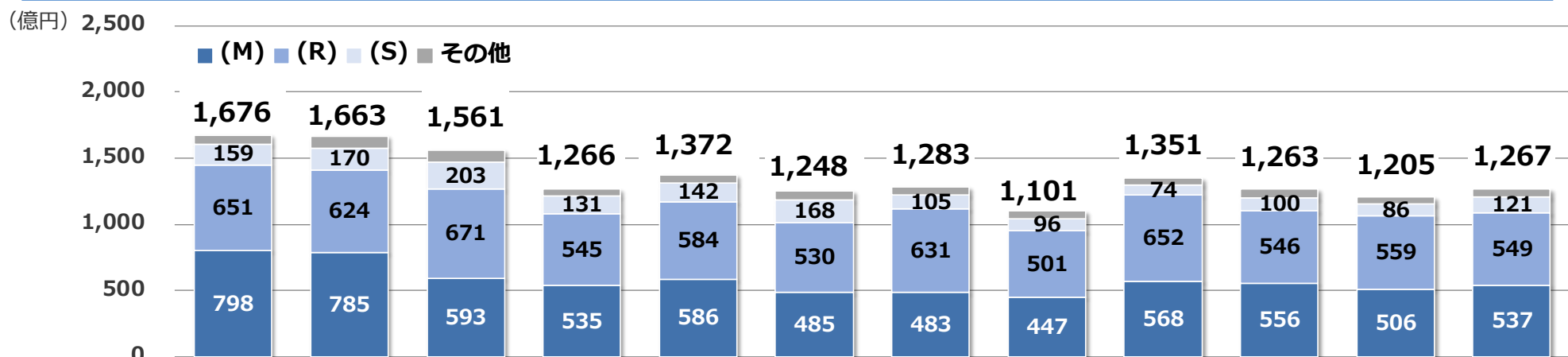
(億円)



[注] FY22のデータは、セグメント区分見直し前の数値を使用

四半期受注推移 (セグメント別)

※為替は期中平均レートを使用



	FY2022				FY2023				FY2024				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
全社	YoY	+21%	+21%	+9%	▲17%	▲18%	▲25%	▲18%	▲13%	▲1%	+1%	▲6%	+15%
	QoQ	+10%	▲1%	▲6%	▲19%	+8%	▲9%	+3%	▲14%	+23%	▲7%	▲5%	+5%

YoY	(M)	+7%	+10%	▲21%	▲28%	▲27%	▲38%	▲19%	▲16%	▲3%	+15%	+5%	+20%
	(R)	+33%	+34%	+42%	▲9%	▲10%	▲15%	▲6%	▲8%	+12%	+3%	▲11%	+10%
	(S)	+48%	+18%	+32%	▲1%	▲11%	▲1%	▲48%	▲27%	▲48%	▲40%	▲18%	+26%

QoQ	(M)	+7%	▲2%	▲24%	▲10%	+9%	▲17%	▲0%	▲7%	+27%	▲2%	▲9%	+6%
	(R)	+9%	▲4%	+8%	▲19%	+7%	▲9%	+19%	▲21%	+30%	▲16%	+2%	▲2%
	(S)	+20%	+7%	+19%	▲35%	+8%	+19%	▲37%	▲9%	▲23%	+36%	▲14%	+41%

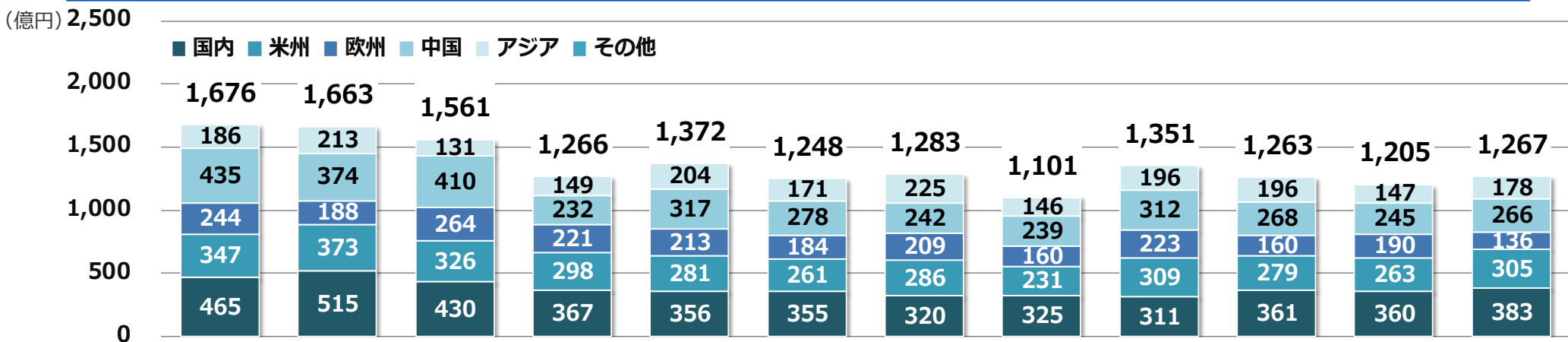
為替レート	円/ドル	124.2	135.3	144.3	132.9	134.9	142.5	149.1	146.7	153.2	154.1	149.1	154.1
	円/ユーロ	134.3	139.3	143.9	142.0	146.1	155.7	159.3	159.4	165.5	167.6	162.1	160.6

[注. 1] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

[注. 2] FY22のデータは、セグメント区分見直し前の数値を使用

四半期受注推移 (所在地別)

※為替は期中平均レートを使用



		FY2022				FY2023				FY2024			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
Total	YoY	+21%	+21%	+9%	▲17%	▲18%	▲25%	▲18%	▲13%	▲1%	+1%	▲6%	+15%
	QoQ	+10%	▲1%	▲6%	▲19%	+8%	▲9%	+3%	▲14%	+23%	▲7%	▲5%	+5%
YoY	国内	+20%	+17%	▲15%	▲25%	▲23%	▲31%	▲26%	▲11%	▲13%	+2%	+13%	+18%
	米州	+45%	+48%	+27%	▲6%	▲19%	▲30%	▲12%	▲23%	+10%	+7%	▲8%	+32%
	欧州	+6%	▲15%	+15%	▲13%	▲13%	▲2%	▲21%	▲28%	+5%	▲13%	▲9%	▲15%
	中国	+10%	+12%	+37%	▲28%	▲27%	▲26%	▲41%	+3%	▲1%	▲3%	+1%	+11%
	アジア	+34%	+64%	▲6%	▲2%	+10%	▲20%	+72%	▲2%	▲4%	+14%	▲34%	+22%
QoQ	国内	▲5%	+11%	▲16%	▲15%	▲3%	▲0%	▲10%	+2%	▲5%	+16%	▲0%	+6%
	米州	+10%	+8%	▲13%	▲9%	▲6%	▲7%	+10%	▲19%	+34%	▲10%	▲6%	+16%
	欧州	▲4%	▲23%	+41%	▲16%	▲4%	▲13%	+14%	▲24%	+40%	▲28%	+19%	▲28%
	中国	+35%	▲14%	+10%	▲43%	+37%	▲12%	▲13%	▲1%	+30%	▲14%	▲9%	+9%
	アジア	+22%	+15%	▲39%	+14%	+37%	▲16%	+31%	▲35%	+34%	▲0%	▲25%	+21%

[注] FY22のデータは、セグメント区分見直し前の数値を使用

YASKAWA